

ケアセンターけやき 居宅介護支援

石井 亜沙美（介護支援専門員）

功 績 担当ご利用者（男性・70代・要介護2）宅の衛生環境が極度に悪化して、どの介護サービス事業所も敬遠され、このままでは在宅生活の継続が危ぶまれる心配から、意を決して自ら精力的に住環境を整え、周囲の協力も引き出して、生活の質を改善した功績。

推薦者氏名 舟山 靖紀（居宅介護支援 管理者）

推薦理由 衛生環境が悪すぎて、通常の介護サービス（訪問介護・看護、通所サービスなど）が介入できない状況の中、福祉従事者としての使命感を貫き、シャドーワークも辞さない姿勢によってご利用者の生活水準を向上させた。そして、けやきの評判を高めることにも繋がった。

内 容

認知症を患うご利用者で、元々自己管理が行き届かず、衛生観念も喪失していた状態が長年続いていた。

令和8年6月頃より、普段使用している布団とシーツ、その周辺の床におびただしい数のイエダニが発生。これが決定打となり、訪問介護と通所リハビリを提供していた事業所から、「衛生倫理的に支援介入が不可」との理由でサービス継続を断られる事態となった。食事・入浴・整容などの支援介入ができなくなったことで、衛生状況がさらに悪化、汚染度合いも見るに堪えないレベルとなった。

「誰かがこの環境を改善しなければ、生活が成り立たなくなってしまう。何とかしなければ」という思いから、石井は「私が行動しよう」と決意。まず、新しい布団とシーツを新調（生活保護者のため、福祉事務所と連携して調達）。次に、ダニに刺されて二次被害を被らない装備（ガウン・ゴム手袋・キャップ・殺虫剤・消毒スプレー）で防御しつつ、外出スケジュールに組み込んで計画的な清掃を実施した。

すると、石井一人で清掃を行っていることを耳にした訪問介護事業所が、意気を感じてボランティアに名乗り出いただき、人数をかけて徹底的にきれいにすることができた。また、衣類も全部交換して、見事に生活の質を改善するに至った。

後日、管理者が同行訪問した際に、ご利用者は「ここまでしてくれると思っていなかった。こんなにきれいな家で生活したのはいつ以来かな」と照れくさそうにしながら感謝の言葉を何度も繰り返し述べていた。

ボランティアで関わってくださった訪問介護事業所からも、「達成感があった」、「これで気持ちよくサービス提供できるようになる」、「石井さんの行動力が凄かった。引き続き一緒に仕事ができて嬉しい」と喜びの言葉を頂いた。